



ICLFI 2008

## 都市の生物多様性のための パートナーシップとネットワーク

2010年生物多様性目標に向けた自治体・地方政府の役割

- ・ 世界中の都市と地方が生物多様性について行動を起こしている。これらの都市や地方は、生物多様性の損失を阻止するため、これまでのお互いの経験を分かち合い、過去に実施した対策の成功例や失敗例や戦略に関する意見交換を行いたいと考えている。
- ・ 国・地域・地球全体の各レベルの協力と連携が必要である。
- ・ このファクトシートでは、生物多様性と自治体に関連したイニシアチブである「生物多様性のためのローカルアクション」(Local Action for Biodiversity, LAB)、「カウントダウン2010」、「都市と生物多様性」を中心に紹介する。

### 都市の生物多様性：地域レベルの行動が鍵となる理由

「都市の生物多様性」とは、都市部における生物学的多様性のことである。都市部における生態系の特徴と質は、都市部の生物多様性を形作っている生物種(動植物)、および生物種とそれを取り巻く環境の相互作用を反映している。都市の生物多様性は、土地利用の形態や市街地の状況、経済・社会・文化的なダイナミクスを通じて人間による影響を非常に強く受けている。

人口密度が高い都市地域では、屋根の上に巣をつくるハヤブサから舗道に茂る雑草に至るまで、生物多様性の大半は都市環境に適応した種で構成されている。人口密度の比較的低い都市や、比較的最近になって人間が定住した都市では、重要な原生自然地域や種が今も残されているケースもあるだろう。

都市の生物多様性は、幅広い観点から捉えていく必要がある。都市部が地球上に占める割合は2.8%に過ぎないが、都

市と都市居住者の役割は、地理的な境界線を越えた重要性を持っている。都市においては、自然は人間にとって身近であり、こうした身近な自然は、人が自然への関心を育て環境に関わるイニシアチブを支持するようになるためには必要な存在であることが明らかになって

いる。

私たちの住む街に目に見えるかたちで動植物が存在しているかどうかといった問題以上の内容が、都市の生物多様性には含まれている。それは、人類の天然資源への依存を象徴するものになりつつあるのだ。

### 地方・地球全体の両方のレベルで自治体が重要なアクターである理由

- ・ 各自治体がそれぞれの自治体サービスを提供するためには正常に機能する生態系が必要である。
- ・ 各自治体は、各行政区域内の生物多様性の保全と向上に対する責任を負っている。
- ・ 自治体は世界人口の半数以上を占める都市居住者にサービスを提供しており、それは、それぞれの行政区域外から入手した天然資源に依存している。
- ・ 都市居住者と都市経済が地球全体の資源の75%を消費している。
- ・ 自治体は、市民が個人や意思決定者としてどのように振る舞うかを決定づける市民の意識に影響を与えることができる。

## 生物多様性のためのローカルアクション



「生物多様性のためのローカルアクション」(Local Action for Biodiversity、以下「LAB」)は、ICLEI(イクレイ)持続可能性をめざす自治体協議会、以下「イクレイ」)が2006年に立ち上げた地球規模の都市の生物多様性イニシアチブである。ケープタウン市による主導とeThekweni(ダーバン)市による支援のもと、世界各国から選出された21の市町村・地方政府と協同で、初のパイロットプロジェクト(2006年～2009年)が実施されている。このLABに参加

する自治体は、5400万人の都市生活者と様々な生態系を代表して活動している。

LABの最大の目標は、生物多様性という世界共通の財産の保全のために、自治体は地域において多大な貢献ができるポテンシャルを持っているという認識の上に立ち、自治体レベルの生物多様性管理の向上を図ることである。

LAB参加都市による生物多様性関連のイニシアチブに対する支援を通じて得られた知識や経験、手法、資料情報等は、その後他の多くの都市や町に提供され、利用できるようになって

### 「生物多様性のためのローカルアクション」(LAB)のプロジェクト目標

1. プロジェクト参加都市による地域レベルの活動の支援
2. 教訓の共有促進
3. 生物多様性のグッドプラクティスとなる事例の創出
4. 生物多様性を社会に主流化していく流れの促進
5. 都市の生物多様性の重要性の定義と促進
6. 自治体による生物多様性管理状況の改善
7. 後から参加してくる都市に対する今後の方向性の提示



## 地域レベルの行動のための方法と戦略

### LABの各ステップ

すべてのLAB参加都市は5段階のステップを踏みながら活動する。これによって、すぐに最適な地元の支援獲得方法、生物多様性管理に対する戦略的アプローチ方法、計画実行方法などを他の都市と共有できるようになる。

#### ステップ1 評価:

各自治体は、生物多様性とその管理の現状を評価した生物多様性報告書を作成する。

#### ステップ2 誓約:

議会が、都市の生物多様性に関するダーバン誓約(Durban Commitment)に署名し、コミットメントを表明する。

#### ステップ3 計画:

各自治体および利害関係者は、生物多様性の長期戦略・行動計画を策定する。

#### ステップ4 誓約:

議会が、生物多様性の長期戦略・行動計画の実行に関する誓約に署名する。

#### ステップ5 実施:

各自治体は、現場レベルの5種類の新たな生物多様性の取り組みを立ち上げる。

「生物多様性のためのローカルアクション」(LAB)のプログラムは、パイロットフェーズ以降も継続される予定である。イクレイとIUCNの協同イニシアチブとして、さらに大小の多数の都市を支援して先進自治体の歩みに追従できるようにしていく。大小の各都市・地方政府はイクレイと協力しながら、国家あるいは国際規模の協力プロジェクトを立ち上げることができる。各種ツールやガイドブック、インタラクティブなウェブサイト、会議、交流ワークショップなどの提供を目的としたプロジェクトが計画されている。

#### 将来ビジョン:

- ・都市の生物多様性に対する支援が強化される
- ・自治体の都市の生物多様性管理の重要性を示す事実やデータが増加していく
- ・市町村の長は、その達成を示す会議を開催する
- ・生物多様性管理の向上につながる自治体の権限と財源が

強化される

- ・世界各地で各種のプロジェクトやイニシアチブがスタートする
- ・イクレイとそのパートナーにより地球規模のLABプログラムが策定される
- ・地方レベルの行動を実現するため、各資金提供者に対するアプローチが行われる
- ・地球規模のイニシアチブに参加する都市の数が拡大する

LABは、参加都市やパートナーを拡大し、より高い目的を設定した次のフェーズに移行していく予定である。

LABプロジェクトのチームは、南アフリカのケープタウンに拠点を置くイクレイのアフリカ事務局で活動している。

詳細に関する連絡先:

lab@iclei.org  
biodiversity@iclei.org  
www.iclei.org/lab





# COUNTDOWN 2010 SAVE BIODIVERSITY

「カウントダウン2010」は、2010年生物多様性目標に向けて活動する活発なパートナーで構成される強力なネットワークである。

参加希望組織は「カウントダウン2010宣言」に署名することで行動を起こし、パートナーシップに加わる意志を表明することができる。カウントダウン2010の署名団体は、全大陸の自治体・地域・国レベルの当局、自然保護団体、企業、NGO、教育機関で構成されている。

各署名団体は、生物多様性の損失の原因に対処するため、新たな努力を行うことを公約する。国際自然保護連合（International Union for the Conservation of Nature, 以下「IUCN」）内に置かれた事務局は、署名団体の行動を推進・振興し、2010年生物多様性目標の重要性を積極的に提唱し、2010年に向けた進捗状況を評価する。年に一度の総会では全署名団体が集結し、カウントダウン2010の全体的な方向

性の見直しを行う。その実施にあたっては、中核的な助言委員会（Advisory Board）に導かれている。

カウントダウン2010の具体的な目標は以下のとおり：

- ・生物多様性に関する課題に対する市民の注目を2010年までに最大限に高めること
- ・生物多様性の救済に関して拘束力を持つ現行のあらゆる国際的な誓約の確実な実行と必要なアクションを促進・支援すること
- ・2010年生物多様性目標の達成に向けた世界全体の進捗状況を明確に示すこと

オランダのティルブルフ（Tilburg）は2005年、自治体としてはじめてカウントダウン2010に署名を行った。以来、180以上の大小の都市・地方政府がそれに続いている。

カウントダウン2010に署名することで行動に対するコミットメントが行われる。IUCNはパートナーであるイクレイと協同し、誓約を実際の行動に結びつける支援を行っている。

[www.countdown2010.net](http://www.countdown2010.net)

## カウントダウン2010宣言

地球上の生命体系である生物多様性は、人間の快適な暮らしの質の確保に不可欠であり、世界各地のあらゆる社会において社会経済やスピリチュアルな側面を維持していく上で決定的に重要な要素であるにも関わらず、衰退の一途をたどっている。この衰退傾向を2010年までに阻止することを目的とした政治的な公約が結ばれている。この公約を尊重し、誓約を行動につなげていくためには、さらなるステップが求められる。署名団体は以下の目的のため、あらゆる実践の機会を活かしていく：

2010年までに生物多様性損失の阻止、あるいは現状の損失率を大幅に低減することに関連した、以下の各種誓約を**支持する**：

- ・2002年にオランダで開催された生物多様性条約締約国会議における世界各国の環境担当大臣によるハーグ閣僚宣言（Hague Ministerial Declaration）
- ・2002年に南アフリカヨハネスブルグで開催された国連「持続可能な開発に関する世界サミット」における各国の元首による実施計画（Plan of Implementation）
- ・各国の元首により2005年にニューヨークで開催された国連世界サミット成果文書
- ・2001年以降に採択された生物多様性に係る多数の条約および地方レベルの手続き

上記の公約実現や以下の行動に貢献するため、民間・公共セクターのあらゆるレベルの意思決定者による活動を**促す**：

- ・2010年生物多様性目標の達成に向けた模範となる活動の支援など、生物多様性の保全に関する市民の意識を向上させて参画を推進する。
- ・政府の政策や経済に係るあらゆるセクターに対して、生物多様性の側面をより良く統合する。
- ・自然のシステムのニーズに人間の活動を適合させていくことに真剣な努力を払う。
- ・生物多様性の状態を評価する適切なモニタリング・指標ツールの開発を支援する。

特に以下の活動を通して、意思決定機関および各社会が2010年生物多様性目標を達成することを促進・援助するために自身が**コミットする**：

2010年生物多様性目標の達成に注目を集め、必要なりソースが調達されるよう、カウントダウン2010の普及に積極的に努める。

我々自身が生物多様性に与えている影響を大幅に削減する。

署名欄

[www.countdown2010.net](http://www.countdown2010.net)



## 都市と生物多様性：地球規模のイニシアチブ

地球規模のイニシアチブである「都市と生物多様性(Cities and Biodiversity)」は、生物多様性の管理・保全の改善において自治体が決定的に重要な役割を果たしていると共にその義務を有しているという認識が高まる中、自治体や国連機関を中心とした多方面の関係者が打ち出した答えである。

このイニシアチブには今日、生物多様性条約(CBD)事務局、国連環境計画(UNEP)、国際ハビタット(UN-HABITAT)、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)などの各種国連機関、イクレイや都市・自治体連合(UCLG)などの自治体協議会、IUCNなどの国際組織など

が参加している。

また、モントリオール、クリチバ、ボン、名古屋、ヨハネスブルグといった生物多様性条約に係るイベントの開催都市をはじめとする都市レベルの卓越した努力を基盤としている。

「都市と生物多様性」イニシアチブの中心要素は、「都市の生物多様性のためのグローバル・パートナーシップ(Global Partnership for Urban Biodiversity)」(協力)、「気候変動に関する世界市長・首長協議会(World Mayors Council on Climate Change)」(自治体代表)、および「生物多様性のためのローカルアクション(Local Action for Biodiversity, LAB)」(都市と連

携した都市のためのプロジェクト)である。

その達成目標は以下の通り:

- ・グローバルレベルでの都市の生物多様性の提唱
- ・自治体の責任と活動の重要性の強調
- ・生物多様性に関する都市ネットワークプロジェクトの支援と、LABのようなプロジェクトの拡大や教訓統合の促進
- ・プロジェクト管理費用を賄い、交流と技術移転を確保することのできるドナーの参加によって、発展途上国の各都市に手を差し伸べる。



Marcia Umland 2008

この資料は、自治体・地方政府レベルの意思決定機関に対して指針と情報を提供する目的で作成したファクトシートシリーズの一部です。生物多様性の損失の阻止に自治体・地方政府が貢献してきた軌跡に関する詳細情報については、ウェブサイト(www.countdown2010.net/lara)を参照いただくか、直接ご連絡ください。すべてのファクトシートは、www.countdown2010.net/lara(英語版)およびwww.bduj.org(日本語版)からダウンロードすることができます。



## 事実とデータ:

生物学的多様性とは、陸生生態系・海洋その他の水界生態系およびそれらが一部を形成する複合生態系をはじめとするあらゆる資源に棲む生物の変異性として定義され、種内の多様性、種間の多様性および生態系の多様性も含んでいる。

(生物の多様性に関する条約より)

## 都市の生物多様性とは...

都市部の生物学的多様性のこと。都市の生物多様性は、人口密度が密集した都市部の建築環境や社会的・経済的・文化的な変遷パターンから甚大な影響を受けている。

## カウントダウン2010事務局

(Countdown 2010 Secretariat)

IUCN Regional Office for Europe

Boulevard Louis Schmidt 64

1040 Brussels, Belgium

Tel: +32 2 739 03 20

Fax: +32 2 732 94 99

www.countdown2010.net/lara

## 自然環境保全欧州センター

(European Centre for Nature Conservation, ECNC)

www.ecnc.nl

## イクレイ—持続可能性をめざす自治体協議会

www.iclei.org/biodiversity

「生物多様性のためのローカルアクション」(Local Action for Biodiversity, LAB)

www.iclei.org/lab

このファクトシートは2008年、カウントダウン2010、ECNC、LABの後援によりイクレイが作成したものです。

本ファクトシートの日本語版は、経団連自然保護基金と地球環境基金の助成によって、生物多様性JAPANが作成したものです。